

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 日本食品化工株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5
----	---------------------------	----	--

本票作成 部署名：水島工場 生産技術課 環境技術係

主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業
-------	-------	----	------------

事業の概要 ぶどう糖・水あめ・異性化糖・食品添加物製造業、従業員約75名

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島工場	倉敷市児島塩生2767-25

特定事業者の該当要件 ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
(●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)	(令和 3)年度排出量	目標年度 (令和 6 年度)
	47,514 t CO ₂	45,505 t CO ₂	47,039 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 3)年度排出量
	①	水島工場	45,505 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 2 年度	～	令和 6 年度	(5 箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(3)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	4.2 %	1.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(3)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 3 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

主製品の販売数量減少が大きく、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えられます。生産量が減少していることもあり、排出量を抑えることが出来ましたが、外的要因による部分が多く今後の見通し判断は厳しいと予想しています。

【推進体制】

工場で推進委員長を中心としたエネルギー管理体制を整備し、省エネ推進委員会を年2回開催、又、工場別の状況を確認・認識するため、全社の省エネ推進委員会を年2回開催した。ISO14001認証を取得済み。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	(令和3年度実施分) 効率化運転によるエネルギーロス削減。(CO2削減 1000t/年) 更新計画に沿ったナトリウム灯及び、蛍光灯のLED化更新。(CO2削減 6t/年) スチームトラップ点検及び、圧縮空気の漏洩調査、補修。 排ガス燃焼装置の設備改善 (CO2削減 187t/年見込み) (今後実施予定分) 工場照明のLED化更新 回転機器のインバータ化。 スチームトラップ点検、エア漏洩調査及び、保温断熱診断の継続。 小型ボイラの高効率化更新計画。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	バイオマス燃料の有効利用を継続中。
その他	無	

【その他特記事項】

ダイヤモンドリスボンプログラムへ参加